

異文化理解および社会的寛容度が社会的排斥経験の主観的反応に及ぼす影響

氏名 ネミ えりか (指導: 石橋 美香子 講師)

キーワード: 異文化理解, 社会的排斥, 社会的寛容度, サイバーボール, 自意識, 大学生

問題・目的

グローバル化が進む現代社会では、日常的に大学生が異なる文化背景を持つ人々と接触する機会が増えている。しかし、異文化に対する理解度や、他者を受け入れる社会的寛容度には個人差があり、誤解や偏見が生まれることで、無意識のうちに排斥の態度につながることもある。こうした経験は、本人の感情や対人認知に影響を与える可能性があり、異文化理解の教育が課題となっている。特に、異文化理解が乏しいと、社会的排斥状況で他者の反応を敵意として解釈しやすく、より強いネガティブ感情を喚起しやすいことが先行研究で指摘されている (Eisenberger 他, 2003)。そこで本研究では、日本の大学生を対象に、異文化理解および社会的寛容度が、社会的排斥状況においてどのような心理的影響を及ぼすのかを明らかにすることを目的とした。特に、民族差別意識や自意識などの心理的特性が社会的排斥経験時の感情の受け止め方に与える影響を検討する。

仮説 異文化理解および社会的寛容度が低い学生ほど、社会的排斥経験後に否定的な感情(「自分は排斥された」「惨めだ」など)を強く抱く傾向があると考える。一方で、これらの傾向が高い学生は、排斥を状況的な出来事と捉えやすく、心理的影響を受けにくいと予測される。

方法

参加者 江戸川大学社会学部人間心理学科の大学生 16 名 (男性 10 名, 女性 6 名, 平均年齢 20.9 歳) を対象に実施された。調査は事前同意のもと、2025 年 6 月 6 日から 7 月 25 日の間に学内実験室で行われた。

方法 参加者は、社会的排斥を再現する「サイバーボール課題」(Ikeda & Takeda, 2019) と、感情変化を測定する気分評定、さらに異文化理解や社会的寛容度(自意識・他者との関係性)に関する質問紙に回答した。サイバーボール課題は統制条件と排斥条件の 3 ブロックで構成され、参加者は CEC 群(統制—排斥—統制)または CCE 群(統制—統制—排斥)に割り振られた。気分評定では「排斥されていると感じた」「惨めだと感じた」などの項目を 9 件法で評価した。なお、本研究は、佐藤 (2024) で用いられたプログラム及び課題を適用した。質問紙には、賀・新谷 (2020) をもとにした異文化理解(民族差別, ダイバーシティ)と社会的寛容度(自意識過剰傾向, 注目欲求, 自己省察)に関する合計 23 項目を用いた。

結果

条件(統制・排斥), 民族差別意識, ダイバーシティ志向を独立変数とし、「私は惨めだと感じた」を問う感情の差分スコアを従属変数とした重回帰分析を行った。その結果、「私は惨めだと感じた」感情項目において、民族差別意識の主効果が有意であり ($p = .038$: 左図), 差別意識が低い者ほど惨めさを強く感じやすい傾向が見られた。また、「条件(統制・排斥), 社会的寛容度(自意識過剰傾向, 注目欲求, 自己省察)を独立変数とし、「私は排斥されていると感じた」感情の差分スコアを従属変数とした重回帰分析を行った。その結果、自己省察と条件の交互作用が有意であり ($p = .043$: 右図), 自己省察が高い者は排斥経験時の惨めさの感情が軽減される傾向が示された。

考察

本研究では、異文化理解や社会的寛容度が社会的排斥経験に及ぼす影響について検討した。結果として、差別意識が低い者ほど惨めさを強く感じやすい傾向がみられ、また、自己省察が高い者は排斥経験時の惨めさの感情が軽減される傾向が示された。本研究の特徴は、「私は惨めだと感じた」という感情項目において、民族差別意識の低い学生ほどその感情が強く表出された点である。一見直感に反するよう見えるが、こうした個人は他者の尊重や包摂性を重視する価値観を持つため、排斥経験は自身の信念と強く矛盾し、認知的不協和 (Festinger, 1957) を引き起こす可能性がある。その結果、自己評価の揺らぎや対人不信が生じ、惨めさが強まったと考えられる。また、自己省察の傾向が高い学生では、この感情が有意に緩和されており、内省的な視点が情動の調整に寄与していることが示唆された。つまり、自己省察が高い個人は、排斥体験に対して感情をそのまま受け取るのではなく、自分の反応や背景を振り返ることで、心理的な距離を取ることができると考えられる。本研究の結果から、個人の文化的態度の違いや自意識などの特性が、社会的排斥の受け止め方に一定の影響を与える可能性が示唆された。

左図 民族差別意識と排斥条件による「私は惨めと感じた」感情得点の関係, 右図 自己省察と排斥条件による「私は惨めと感じた」感情得点の関係

